

余合ホーム&モビリティ株式会社

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

住まい(ホーム)から移動空間(モビリティ)までをトータル・コーディネートするメーカーへのパラダイムシフトを実現中

- 次世代の異分野市場への進出のための研究開発が、商品開発力向上にも役立つというシナジー効果を創出
- 中小機構のハンズオン支援を契機として「町工場」から「工場」への進化に成功した
- 大手メーカーと新事業のコンセプト作り段階から協業し、シームレスな連携に取り組んでいる

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市中川区八熊通 5-34
電話/FAX	052-352-3331/052-352-3337
URL	http://www.yogohm.com
代表者	代表取締役 余合 繁一
設立	1938年
資本金	1,000万円
従業員数	52人



会社概要

同社は、1938年の創業以来、ドアヒンジや引き出しレール、ダンパー等の「動きのある金具」を中心に、斬新な商品を開発し、大手住宅設備会社の一次サプライヤーとして確固たる地位を築いてきた。事業拡大に伴い、国内製造会社の買収や中国（上海市）工場設立を進め、2011年には、社名を余合ホーム&モビリティ（株）に変更、従来の住宅設備事業（ホーム）に加え、次世代自動車（モビリティ）という成長分野にも乗り出した。

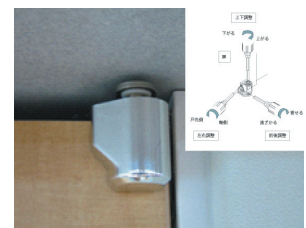


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 異分野市場への進出開始が、「商品開発力」に火をつけた

国内での住宅設備市場の限界を認識し、今後の事業の大きな柱として、次世代自動車（EV等）の機能部品や制御部品事業に挑戦を開始したことで、社内DNAである「商品開発力」が覚醒。従来の住宅設備の新商品開発にも「飛び火」し、ドア調整金具や新型クローザー等のヒット商品を生む起爆剤となった。これらの高付加価値型新商品が、従来の大手顧客への売上増加や、新たに大手ハウスメーカーと取引開始など大きな成果に繋がり、数年間で30%ほどの売上増加となっている。



3方向調整可能なドアヒンジ

▶▶▶ 「町工場」から「工場」への脱皮によるパラダイムシフト

モビリティ（≒EV等次世代自動車）という異分野進出のシナジー効果として、従来の住宅設備商品（ホーム）の開発スピードも速くなり、多くの新商品がヒットし始め、売上が大幅に増加することになった。また中国生産拠点が、現地の人件費高騰で縮小され、国内生産回帰に対応する必要が出てきた。さらに、4年前から取り組んできた「生産工程や物流改善による業務の整流化」や「基幹系及び生産管理システム導入」等の改善成果が実り始め、効率的な生産状況を維持することが可能になった。



品番管理から位置管理

▶▶▶ 日本を代表する大企業と、シームレスに連携中

住まい（ホーム）と移動空間（モビリティ）を融合させた生活空間の創出を新しい事業領域として再定義した。また名古屋大学がコアとなって大手企業が連携する「高齢者が元気になるモビリティ社会」プロジェクトに唯一の中小企業として参画、大手メーカーと共に、次世代車椅子のコンセプト作りの段階から参加した。このように未来を見据えた取組を高めることで、住宅設備部品の新商品へのシナジー効果がもたらされ、数年で売上げが3割近く増加している。



名古屋大学発プロジェクト